

DATA

場 所：宮城県八幡町共同溝立坑～溝内全域、道路資料館
 実 施 者：仙台工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (022) 248-4131]
 参 加 者：仙台市立八幡小学校4年生 108名、先生 4名
 実 施 日：平成12年11月4日
 学習時間：3時間

関係する分野

環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

道路の地下に埋められている占用物(上・下水道、電力、ガス、NTTなど)の掘り返しを防止したり、電柱などの倒壊など都市災害を防止したり、また街なみを良くするなどの目的で共同溝はつくられています。子供たちが不思議に思っていた道路の地下につくられている共同溝を知るために行った見学会を含めた取り組みです。

内容

共同溝見学会では、道路の地下3階フロアにて「共同溝なっとくパネル展」を見学し、共同溝の工事開始から完成後の街の景観まで、どのようにして共同溝が完成したかを学びました。パネル展で学んだ内容でクイズに挑戦し、自分たちの住む町の地質を学習したほか、地下2階フロアの壁面に記念ウォールアートを完成させました。道路資料館見学会では、展示室の見学や「うんでんくん」の体験、道の歴史についても学びました。



共同溝なっとくパネル展でなっとく!



自由な色彩が施された壁画のアート



ドライブシュミレーター「うんでんくん」は人気!



記念写真のみんなはすっかり探検隊

ポイント

- 道路の地下には、都市生活に必要な不可欠な「水道」「電力」「ガス」「電話」「下水」などの公益施設が埋設されているなど、道路の地下利用について学びます。
- 道路の掘り返しを防止したり、振動や騒音、陥没などの道路環境を改善するための取り組みについても学びます。
- 共同溝は、増加する自動車への対処や、都市景観の美化、都市機能を災害から守るなど多くの機能を学びます。
- 実際道路の地下へ探検してもらおうなど子供たちに学習の意欲を高める工夫をしています。

成果

道路の下には、自分たちの生活を支える施設があることがわかりました。見学した感想を、一人ずつ壁新聞にまとめました。テレビのニュースで見学の様子を放送されました。冊子「知るほどなっとく探検ウォーク」に、見学の様子や見学を終えた感想、記念写真などをまとめて発行しました。

参加者の声

「はじめて地面の下にもぐったのできんちょうしました。共同溝は四角だと思ったのに丸かったのでおどろきました。見学できてよかったです。」

(仙台市立八幡小学校 4年生)

「共同溝のかべに絵を描いているとき、10年後の八幡はどうなっているのかなあと思いました。今、考えるときっときれいでみんなが安全に歩ける道路だと思います。」

(仙台市立八幡小学校 4年生)

「電信柱を作り出したのも人間ならば、道路や共同溝を作り出したのも人間です。この、共同溝見学を通して、共同溝を作ることの義務や役割を知ることはもちろんですが、そこに携わった人々の苦労を想い、感謝する心をもてる子供たちが育ってくれたらと思います。」

(仙台市立八幡小学校 先生)

「共同溝新聞」
中山千尋さん作「共同溝調べちゃったよ新聞」
中村和貴さん作

冊子「知るほどなっとく探検ウォーク」

次のステップに向けて

- 道路の地下空間利用が、道路構造、防災、美化等さまざまなメリットがあることを知り、道路に求められる機能性がどんどん広がっていることや、多面的に道路を学ぶこともできます。
- 快適な道路空間を確保するために行われている、バリアフリー、幅広歩道等の現場見学を通して、道路の社会的役割を学ぶことも考えられます。